

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日 令和4年3月2日

公表 : 令和4年3月17日

事業所名 春日井こども発達支援センターてくてく

		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点をふまえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	1	9	2	・訓練室は人数に対して狭いと感じるが、課題を工夫することで対処している。 ・多機能訓練室を利用し環境を整えている。部屋の確保。	
	2	10	1	・コロナ対策で最小人数に抑えているため必要充分ではない状況ではあるが、最低人数の配置は出来ている。	
	3	9	1	・トイレ等子どもの使いやすいように配慮しているが、適切とは言えない。また 真冬の時期に便座も冷たく、手洗いもお湯が出ないなど子どもの施設としては向いていない ・部屋の空間が多い場所は、角を利用し視野を狭くし集中できるようにしている。訓練室を利用する場合、危険の無いよう、器具収納・支柱カバーをしている。 ・余分な情報が無いよう整った室内環境を提供している。	
	4	10	1	・活動に合わせ、部屋を分けている。 ・清潔ではあるが、時として狭く危険に感じる。空間に合わせた活動になる事がある。	
業務改善	5	10		・常にスタッフ会議を行っている。 ・情報共有をして、互いに意見をかわして改善に繋がるように務めている。	
	6	11		・定期的に会を設け意見を聞く事になっている。 ・アンケートの実施により評価を受けている。	
	7	10			
	8	4	5	・特別機関として設けていないが外部の意見を受け入れている。	
	9	11		・外部からの講師による研修を受けている。 ・外部講師を招いて実施出来ている。	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11		・専門職により、定期的に見直している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10		・独自に作っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11		・個を見る療育の中から、適切で具体的な支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11		・週ごとのミーティングや療育前後で話し合いを実施している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11		・グループ毎に内容を検討している。 ・以前の活動内容を見たり、担任のアイデアを出したりしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	11		・子どもの状況を見て、現状に合わせて活動の内容を工夫している。 ・集団の中で個別対応出来るよう配慮している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11		・毎回打合せをし、確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11		・必ず情報共有をし、記録に生かせるよう心掛けている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11		・情報共有を必ずしている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3			・医療機関が必要な方は受け入れていない。他の機関に相談。 ・対象者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	2		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	2		・訪問支援を契約している子は相互理解も出来ているが、その他のお子さんは就学で終了となる事が多い。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	2		・コロナ禍でもあり、事業者同士の交流は行っていない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	1		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	1		・就園クラスでは、保護者の方と話す機会が少ない。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	6		・ペアレントトレーニングの勉強会を行ったが、専門の助言できる支援者がいない為出来ていない。 ・プログラムとして組み入れてはいないが、種々機会時、保護者へのアプローチをしている。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11		・定期面談以外にも、その都度相談に応じている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11		・定期面談以外にも、その都度相談に応じている。 ・回数は減り、コロナ禍で延期となることもあるが、最小限の開催は出来ている。努力している。 ・コロナ禍の中、保護者同士の連携は進んでいない。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	1		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	4	・医師の指示を直接受けていないが、保護者より確認、対応している。 ・情報共有は出来ている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	2		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。